

CITIZEN

2021年度（2022年3月期）
通期決算説明会

シチズン時計株式会社
2022年5月12日

2021年度通期業績概要



決算のポイント

2021年度通期実績

- 時計・工作機械事業の回復により、売上高2,814億円（前年比 +36%）
時計事業 1,310億円（前年比+37%）、工作機械事業 810億円（前年比+73%）過去最高
- 営業利益222億円（前年比 +318億円増益）
- 当期純利益は過去最高となる221億円（前年比 +473億円増益）

2021年度第4四半期（1-3月期）実績

- 時計・工作機械事業の売上高増により、営業利益26億円（前年比+61億円増益）

2021年度通期 連結業績概要

(単位：億円)	2020年度 通期実績	2021年度 通期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,066	2,814	+747	+36.2%
営業利益	▲ 95	222	+318	-
営業利益率	▲4.6%	7.9%	-	-
経常利益	▲ 41	273	+314	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 251	221	+473	-
為替レートの影響	¥106/USD ¥123/EUR	¥112/USD ¥130/EUR	-	-

2021年度通期 セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高		2020年度 通期実績	2021年度 通期実績	前年同期比	
				増減額	増減率
	■ 時計事業	956	1,310	+354	+37.1%
	■ 工作機械事業	467	810	+343	+73.4%
	■ デバイス事業	459	500	+41	+9.0%
	■ 電子機器他事業	183	192	+8	+4.9%
	合 計	2,066	2,814	+747	+36.2%
営業利益					
	■ 時計事業	▲81 (▲8.6%)	103 (7.9%)	+184	-
	■ 工作機械事業	29 (6.3%)	125 (15.5%)	+96	+328.9%
	■ デバイス事業	▲4 (▲1.1%)	28 (5.7%)	+33	-
	■ 電子機器他事業	3 (2.1%)	11 (6.1%)	+7	+197.5%
	消去又は全社	▲41	▲46	▲4	-
	合 計	▲95 (▲4.6%)	222 (7.9%)	+318	-

(単位：億円)	2020年度 4Q実績	2021年度 4Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	555	658	+102	+18.5%
営業利益	▲ 34	26	+61	-
営業利益率	▲6.3%	4.0%	-	-
経常利益	▲ 14	50	+65	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 32	49	+82	-
為替レ－卜	¥104/USD ¥127/EUR	¥115/USD ¥129/EUR	-	-

2021年度第4四半期（1－3月期） セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2020年度 4Q実績	2021年度 4Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	238	282	+43	+18.2%
■ 工作機械事業	141	209	+67	+47.4%
■ デバイス事業	126	121	▲4	▲3.9%
■ 電子機器他事業	47	45	▲2	▲5.8%
合計	555	658	+102	+18.5%
営業利益				
■ 時計事業	▲43 (▲18.3%)	▲0 (▲0.3%)	+42	-
■ 工作機械事業	14 (10.2%)	31 (15.2%)	+17	+119.4%
■ デバイス事業	2 (2.1%)	7 (6.2%)	+4	+184.7%
■ 電子機器他事業	2 (5.1%)	1 (2.5%)	▲1	▲53.3%
消去又は全社	▲10	▲13	▲2	-
合計	▲34 (▲6.3%)	26 (4.0%)	+61	-

時計事業 2021年度第4四半期業績推移

第4四半期

完成品販売

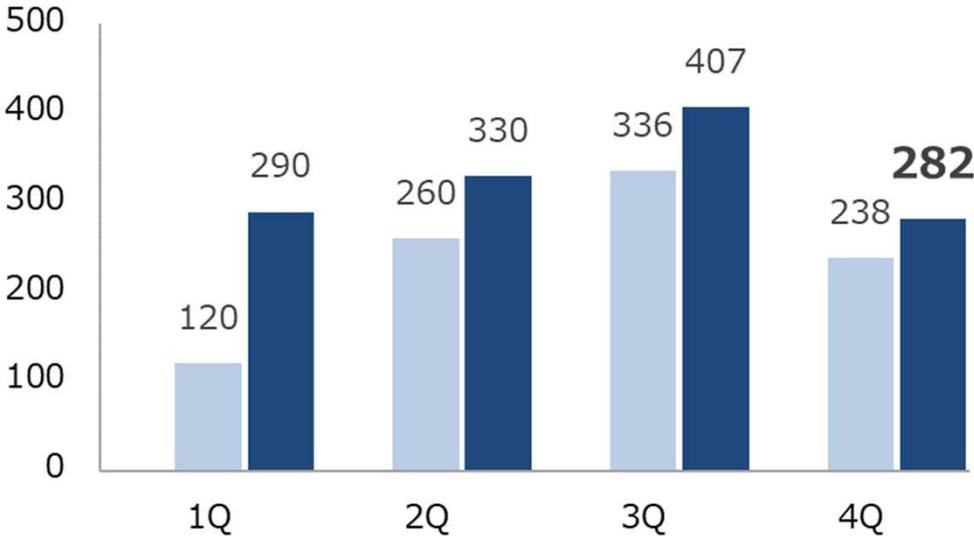
- 海外市場：北米の好調が引き続き業績を牽引したほか、欧州が底堅さを保つ
- 国内市場：消費の回復が進まず減収

ムーブメント販売

- 機械式ムーブメントが堅調継続。アナログクォーツも多針系が好調維持

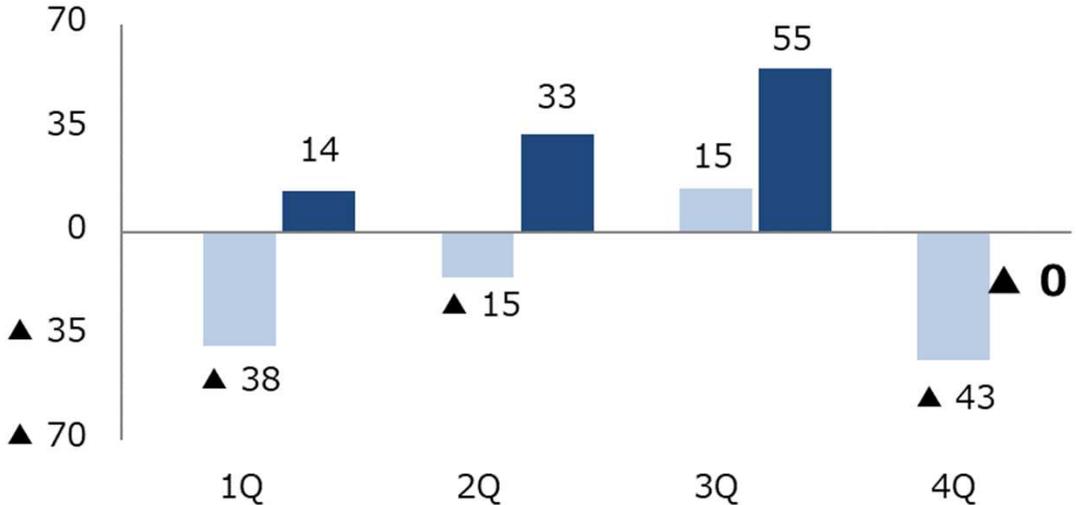
売上高(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度



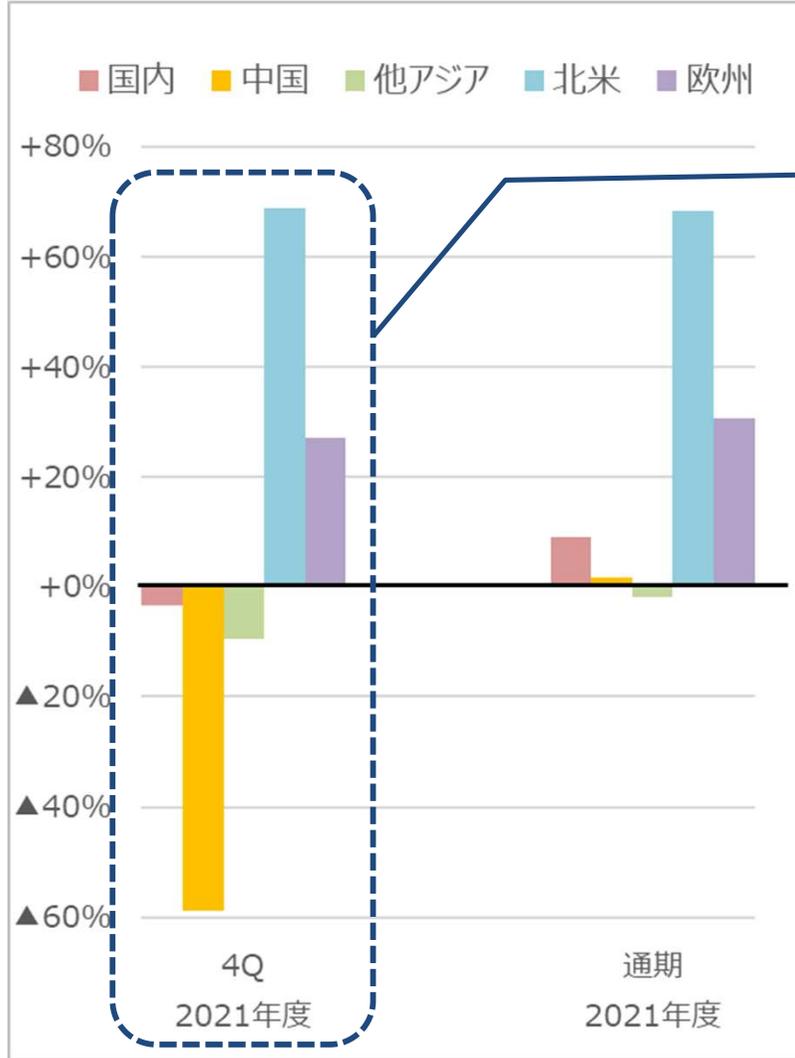
営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度



時計事業 地域別売上高伸び率

■ 前年同期比増減率



前年同期(2020年度4Q)比増減率

北米、欧州の好調が全体を牽引した一方で、中国が大幅減

- 国内：消費活動の停滞により伸び悩み
- 中国：景況感の悪化等を受け大幅減
- 他アジア：消費マインドの低下等により減収
- 北米：EC販売及び実店舗の回復を受け好調継続
- 欧州：経済活動の再開に伴い主要地域が回復

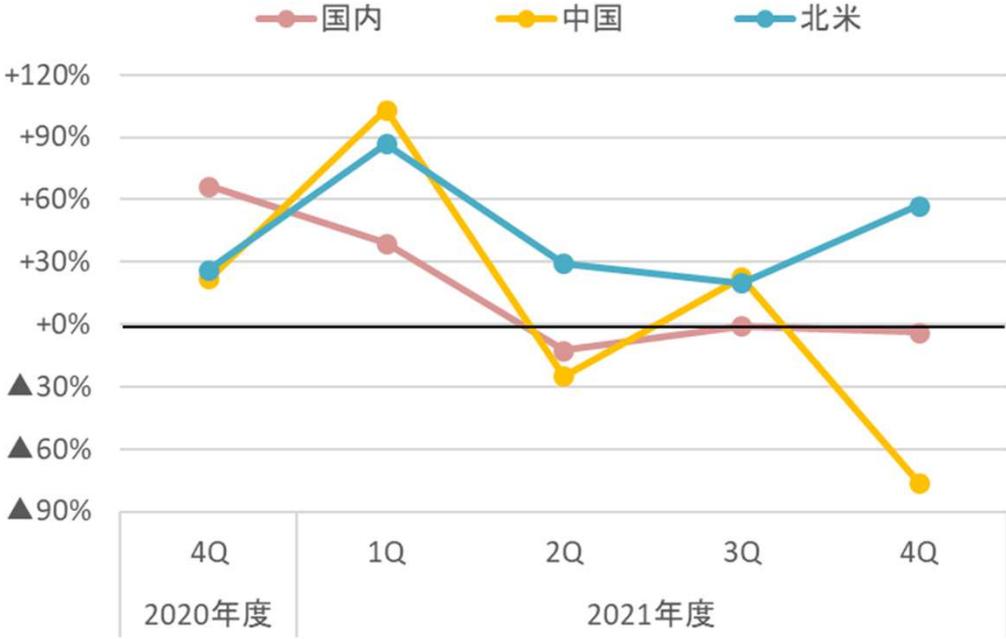
※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減。その他の地域はCITIZENブランドのみの増減。

※ 他アジアは中国を除いたアジア地域

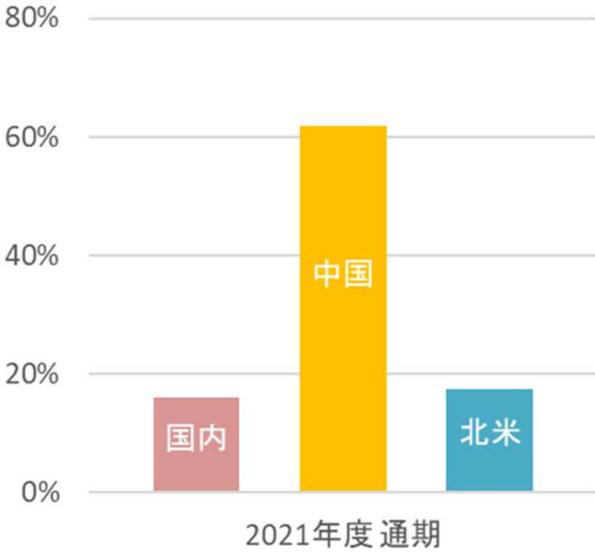
※ 現地通貨ベースの増減率

時計事業 EC販売

■ EC販売 前年同期比増減率



■ EC比率



■ EC販売 4Q前年同期比増減率

- 国内 ▲4% 限定品は堅調に推移したものの、経済活動正常化に向けた動きは弱く伸び悩み
- 中国 ▲76% コラボモデルが好調に推移した一方、ロックダウンに伴う配送の混乱や消費の停滞を受け減収
- 北米 +57% EC販売強化に向けた取り組みが寄与し、直販ECは限定製品を中心に好調継続。既存ECも伸張

※ 国内、中国はCITIZENブランドのみの増減。北米はCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減

※ 増減率、EC比率はいずれも現地通貨ベース

PROMASTER



ジンベエザメをモチーフにした限定モデル

- プロフェッショナルスポーツウォッチとしての高い性能に加え、「想像力」という価値を提案する『シチズン プロマスター』
- 絶滅危惧種であるジンベエザメをモチーフとした「エコ・ドライブ ダイバー200m」限定モデルを2022年秋冬に発売予定
(世界限定5,000本)
- 当モデルの売り上げの一部は、国際的な自然保護団体である「コンサベーション・インターナショナル(CI)」の海洋保全活動への支援に使用



「チャレンジダイバー」のデザインを受け継ぎ現代的にアップデート

- シチズンのアーカイブにおいてユニークな逸話を持つダイバーズウォッチ「チャレンジダイバー」
- 1983年にオーストラリアのロングリーフビーチの海中で、フジツボに覆われながらも、浸水することなく動き続けているものが発見
- 本モデルは、「チャレンジダイバー」のデザインを継承しながら、外装とムーブメントを現代的にアップデートし、2022年8月に発売予定



1983年 オーストラリアのロングリーフビーチで発見された
1977年発売の自動巻きダイバーズウォッチ「チャレンジタイマー」

CITIZEN *L*



Biomimicry (バイオミミクリー) を取り入れた新作

- 地球環境や人に配慮したサステナブルウォッチブランド『CITIZEN L (シチズン エル)』のシグネチャーライン『Ambiluna (アンビリユナ)』
- 生物の仕組みや自然の美しさに学ぶバイオミミクリー※を取り入れ、「地・水・火・風」をテーマにデザインした10周年記念限定モデルを含む全4モデルを2022年7月に発売予定

※ Biomimicry (バイオミミクリー) : 生物の構造や機能から学んだことを技術開発に活かすことを指し、生物を意味する「Bio」と模倣を意味する「Mimicry」からなる用語

工作機械事業 2021年度第4四半期業績推移

第4四半期

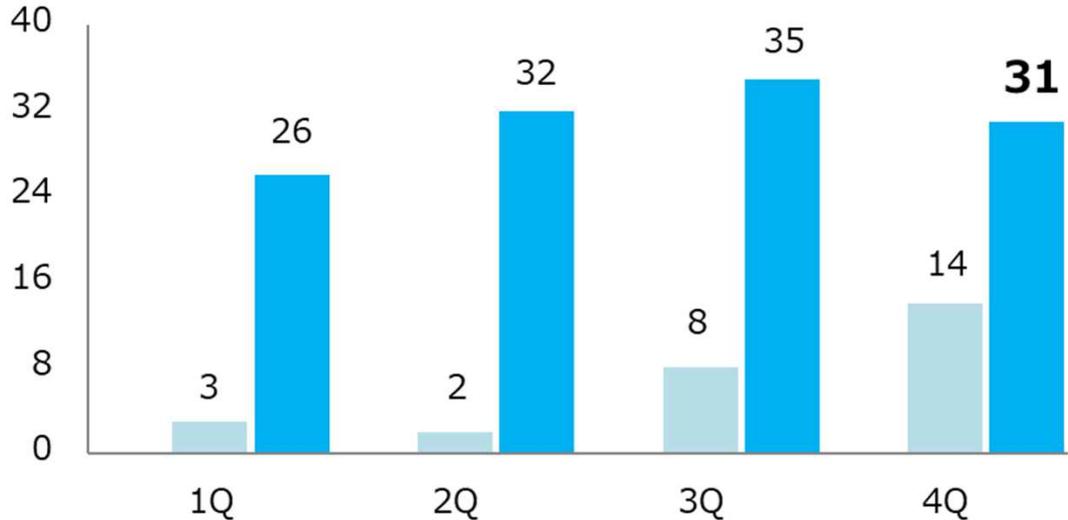
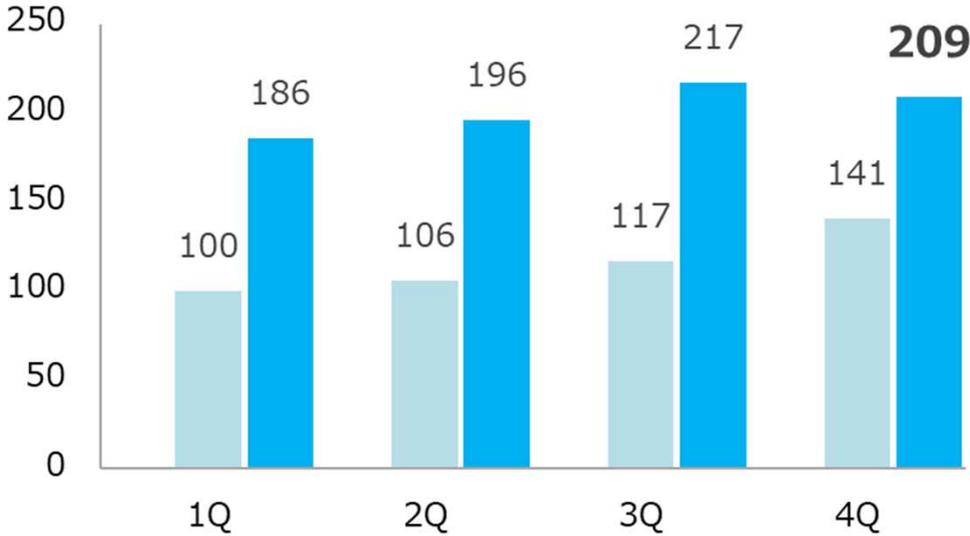
- 国内市場：長納期化が進む中、半導体・建機など幅広い業種が好調に推移し、増収
- 海外市場：欧州が旺盛な設備投資需要を受け、増収。中国も好調継続

売上高(億円)

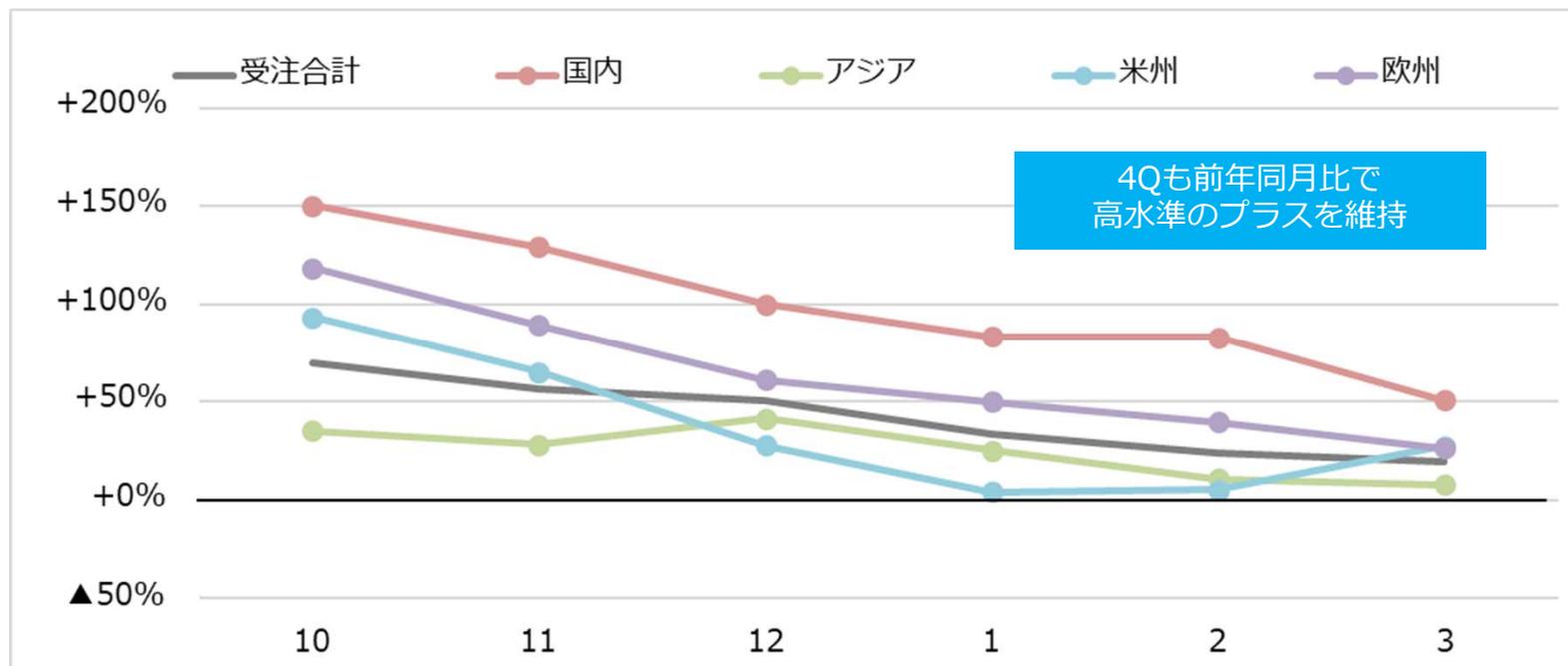
営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度

■ 2020年度 ■ 2021年度



■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



■ 4Q前年同期比増減率(四半期受注台数)

- 受注合計 +20% 部品調達難に伴う長納期化が進む中、幅広い業種から受注を獲得し高水準を維持
- 国内 +51% 半導体、建機など全体的に好調、自動車は減産影響により回復遅れ
- アジア +8% 医療、自動車、スマートフォン関連など全体的に好調な受注を獲得
- 米州 +28% 医療関連を中心に積極的な設備投資が継続
- 欧州 +26% 自動車をはじめ、医療、油圧等幅広い業種で旺盛な需要が継続

デバイス事業 2021年度第4四半期業績推移

第4四半期

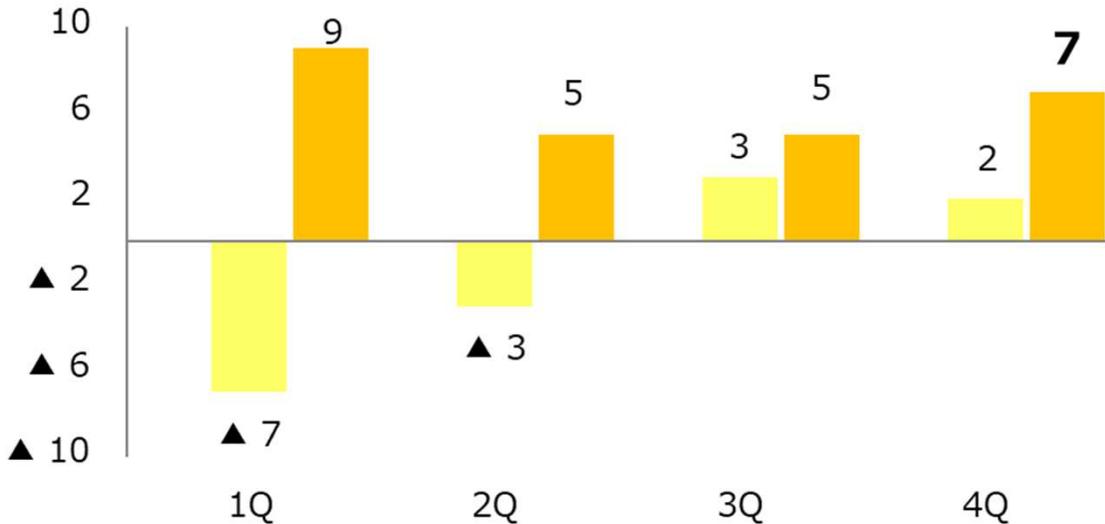
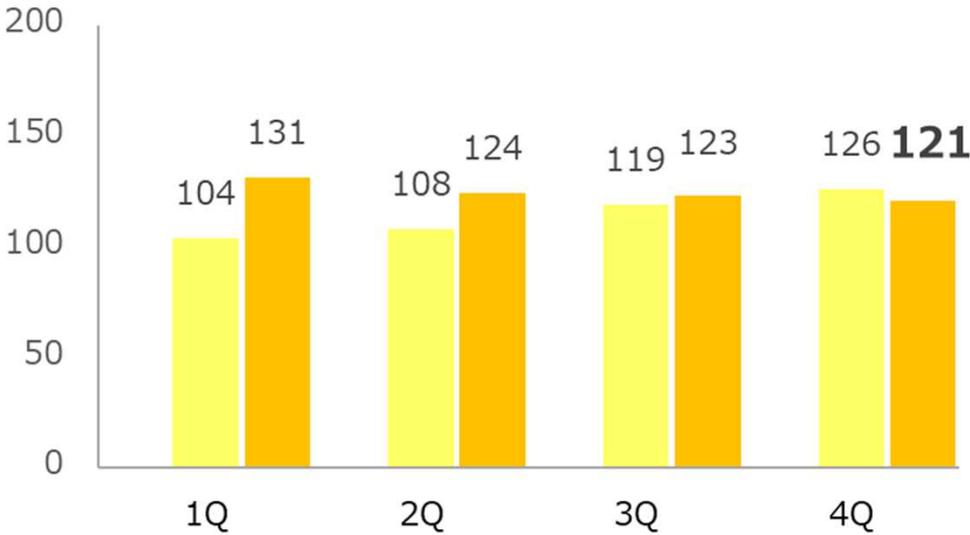
- 精密加工部品：自動車部品は自動車メーカーの減産等の影響を受け想定を下回るも、利益確保
- オプトデバイス：車載用LEDは回復したが、照明用LEDが落ち込み減収
- その他部品：水晶デバイスはIoT関連など幅広い分野で需要が伸び、増収
小型モーターは医療関連や半導体関連が堅調に推移

売上高(億円)

営業利益(億円)

2020年度 2021年度

2020年度 2021年度



2022年度上期及び通期連結業績予想



業績予想のポイント

2022年度通期業績予想

- 時計事業は消費の回復が継続し増収予想
- 工作機械事業は高水準の受注残があるものの、部材調達難の影響により、売上微増の予想
- 営業利益は増益予想だが、為替差益を見込まず経常利益・当期純利益は減益予想

2022年度配当金予想

- 年間配当金 30円（中間 15円 / 期末 15円）
参考：2021年度 年間配当予定 18円（中間 9円 / 期末 9円）

2022年度 上期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2021年度実績		2022年度予想		増減額	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,357	2,814	1,425	2,935	+67	+120
営業利益	106	222	105	225	▲ 1	+2
営業利益率	7.9%	7.9%	7.4%	7.7%	—	—
経常利益	120	273	110	240	▲ 10	▲ 33
親会社株主に帰属する当期純利益	98	221	80	180	▲ 18	▲ 41
為替レートの影響	¥110/USD ¥131/EUR	¥112/USD ¥130/EUR	¥120/USD ¥130/EUR	¥120/USD ¥130/EUR	—	—

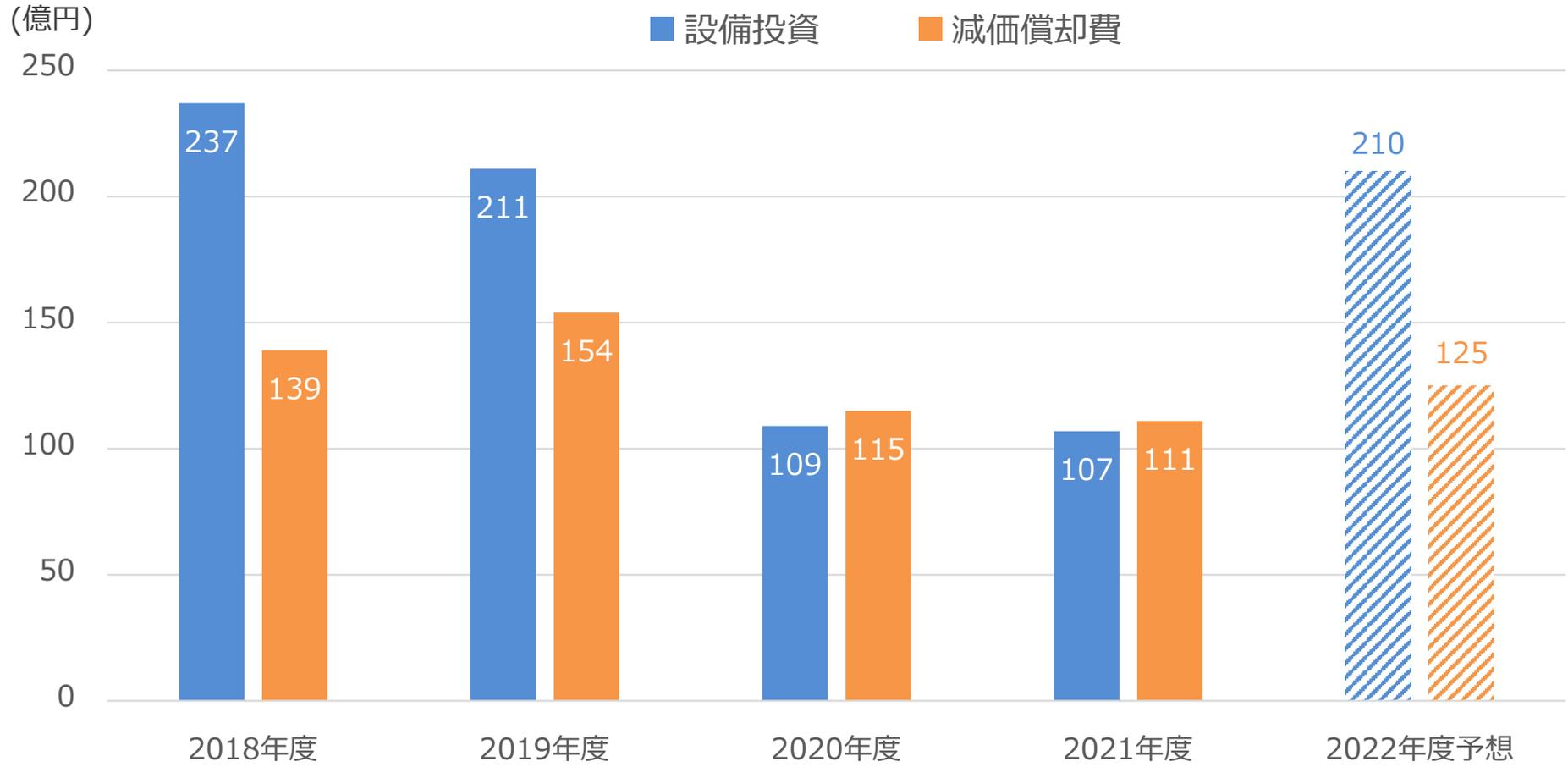
■ 為替影響額 (1円円安の年間影響額)

売上高	USD	EUR	営業利益	USD	EUR
	+9億円	+4億円		+2.5億円	+2億円

2022年度 上期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

		(単位：億円 / %：営業利益率)		2021年度実績		2022年度予想		増減額	
		上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	■ 時計事業	620	1,310	680	1,420	+59	+109		
	■ 工作機械事業	383	810	410	820	+26	+9		
	■ デバイス事業	255	500	250	510	▲ 5	+9		
	■ 電子機器他事業	98	192	85	185	▲ 13	▲ 7		
	合計	1,357	2,814	1,425	2,935	+67	+120		
営業利益	■ 時計事業	48 (7.8%)	103 (7.9%)	54 (7.9%)	115 (8.1%)	+5	+11		
	■ 工作機械事業	58 (15.4%)	125 (15.5%)	64 (15.6%)	128 (15.6%)	+5	+2		
	■ デバイス事業	15 (6.0%)	28 (5.7%)	12 (4.8%)	29 (5.7%)	▲ 3	+0		
	■ 電子機器他事業	7 (7.6%)	11 (6.1%)	3 (3.5%)	8 (4.3%)	▲ 4	▲ 3		
	消去又は全社	▲ 23	▲ 46	▲ 28	▲ 55	▲ 4	▲ 8		
合計	106 (7.9%)	222 (7.9%)	105 (7.4%)	225 (7.7%)	▲ 1	+2			

設備投資・減価償却費



- 「中期経営計画2024」に基づき時計事業の合理化投資および工作機械事業の成長投資を加速
- 投資配分イメージ 時計事業+工作機械事業 7割以上

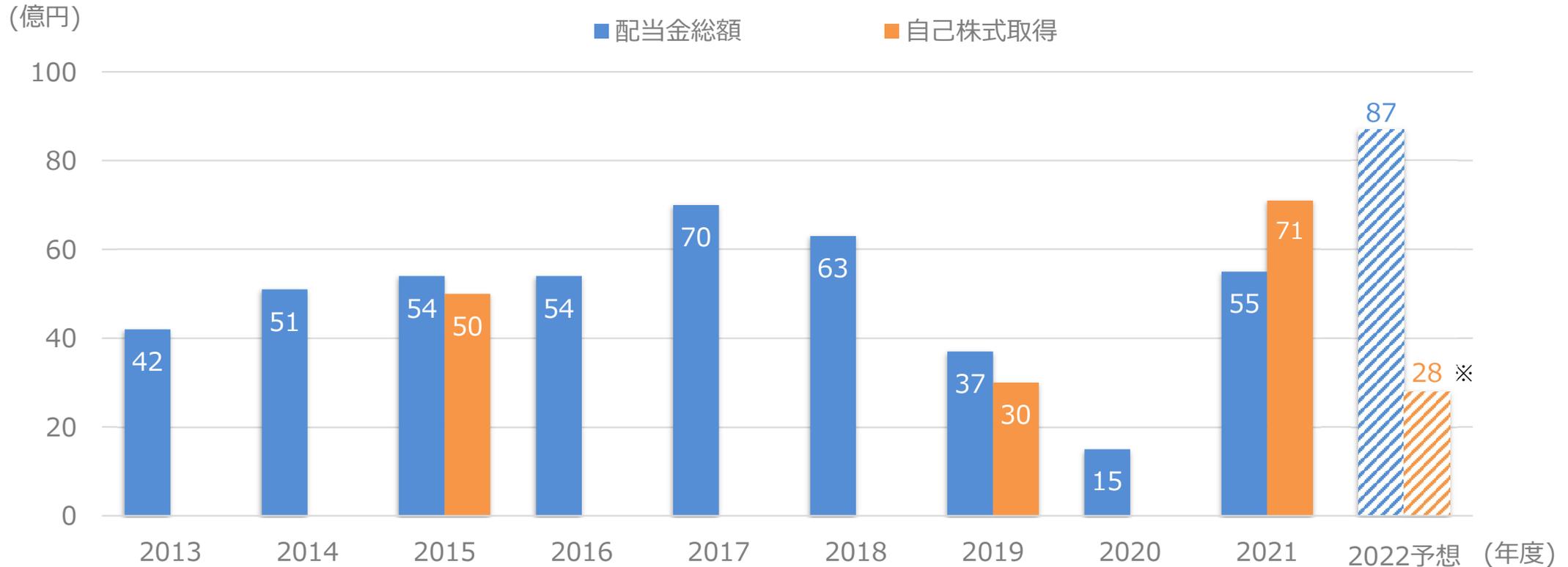
株主還元

中期経営計画 株主還元方針 2022~2024年度

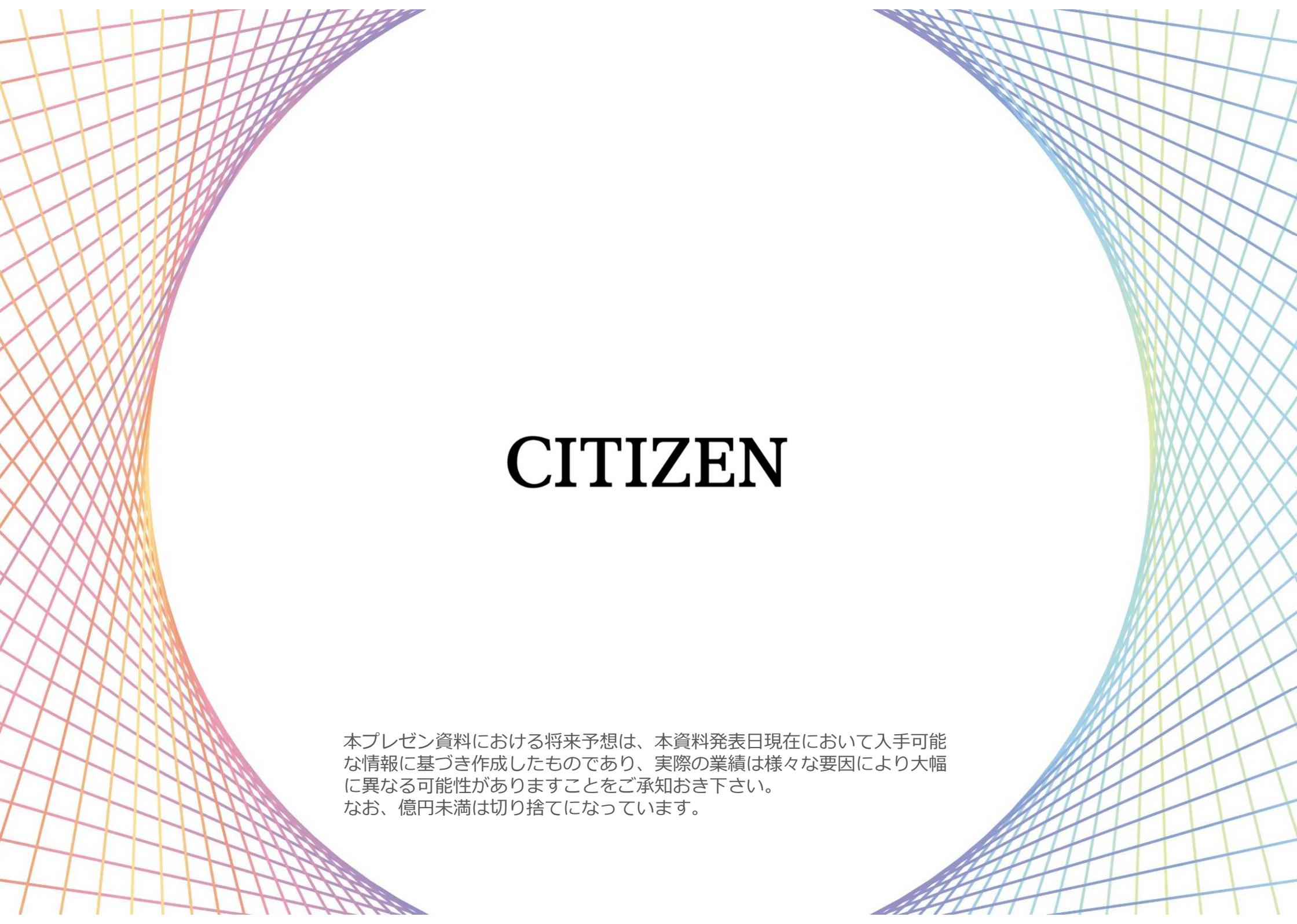
- 安定的かつ継続的な配当を重視
- 配当性向 50%目安
- 自己株式取得 状況に応じて機動的に判断

2022年度 配当予想

- 1株当たり配当金 年間30円 (中間 15円 / 期末 15円)
- 配当性向 49.7%
- 配当金総額 87億円



※ 2021年11月25日開催の取締役会にて総額100億円(上限)の自己株式取得を決議
2021年度は自己株式を71億円取得しており、2022年度は28億円取得する見込み



CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

2021年度通期セグメント別業績推移(2019年度比)

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高		2019年度	2021年度	前年同期比	
		通期実績	通期実績	増減額	増減率
	■ 時計事業	1,416	1,310	▲ 105	▲ 7.4%
	■ 工作機械事業	585	810	+ 224	+ 38.4%
	■ デバイス事業	559	500	▲ 59	▲ 10.5%
	■ 電子機器他事業	224	192	▲ 31	▲ 14.0%
	合 計	2,785	2,814	+ 28	+ 1.0%
営業利益					
	■ 時計事業	39 (2.8%)	103 (7.9%)	+ 63	+ 161.7%
	■ 工作機械事業	72 (12.4%)	125 (15.5%)	+ 53	+ 73.4%
	■ デバイス事業	9 (1.7%)	28 (5.7%)	+ 19	+ 209.1%
	■ 電子機器他事業	▲ 2 (▲ 1.0%)	11 (6.1%)	+ 13	-
	消去又は全社	▲ 57	▲ 46	+ 11	-
	合 計	61 (2.2%)	222 (7.9%)	+ 161	+ 263.0%

貸借対照表

(単位：億円)	2021年 3月末	2022年 3月末	前年度 末比 増減額
流動資産	2,444	2,701	+256
現金及び 預金	1,018	1,109	+90
棚卸資産	902	970	+67
固定資産	1,213	1,248	+34
有形固定 資産	759	748	▲ 10
投資有価 証券	333	372	+39
資産合計	3,658	3,949	+291

(単位：億円)	2021年 3月末	2022年 3月末	前年度 末比 増減額
負債	1,529	1,562	+33
有利子 負債	748	661	▲ 87
純資産	2,128	2,386	+258
株主資本	1,937	2,040	+103
為替換算 調整勘定	48	166	+117
負債・純資産 合計	3,658	3,949	+291

キャッシュフロー計算書

	21上期	21下期	前年 同期比 増減額
(単位：億円)			
営業活動によるCF	151	195	+44
投資活動によるCF	▲ 39	▲ 55	▲ 16
フリーキャッシュフロー	111	139	+28
財務活動によるCF	▲ 15	▲ 183	▲ 168
現金及び現金 同等物残高	1,103	1,112	+9

